



福原 俊一 Shunichi Fukuhara, MD, MACP

京都大学 名誉教授、Johns Hopkins 大学 客員教授、福島県立医科大学 副学長

1979年北海道大学医学部卒、横須賀米海軍病院インターン、カリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）で内科学レジデント、米国内科学会専門医取得後、循環器・総合内科臨床に従事。Harvard 大学で臨床疫学の修練後（MSc）、東大医学部講師を経て、2000年京都大学教授に就任。東京大学教授併任（-02年）。2020年京都大学退任後、京都大学特任教授、Johns Hopkins 大学客員教授に就任。第7回世界医学サミット会長（ベルリン）、日本臨床疫学会 代表理事。京都大学医療疫学分野教授在任中に114名の院生が在籍、85名が学位取得。卒業生の70%がアカデミアで活躍（11名の教授を含む）、英文原著論文500編以上を発信。2013年に出版した「臨床研究の道標 -7つのステップで学ぶ研究デザイン」がAmazon 医学一般部門で一位、ロングセラーに。同書の英文版も出版。医学書院より「臨床研究 21の勘違い」を出版予定。